



ごあいさつ

はじめに

新型コロナウイルス感染症による影響が長引いております。罹患された方々および関係者の皆さまに謹んでお見舞い申し上げますとともに、不幸にもお亡くなりになられた方々に心よりお悔やみ申し上げます。

新型コロナウイルス感染症への対応

弊社では、新型コロナウイルス感染症への対応において、「お客さまおよび職員の命を最優先に考えること」および「われわれの事業活動により感染者が増えていくことは絶対に回避すること」を基本方針として、対策本部を設置し適時適切な対策を実施しております。

募集活動面においては、緊急事態宣言の発令に伴い2020年4月より、新規の保険募集において対面による活動を制限し、非対面のアフターサービスを中心とした活動を行いました。緊急事態宣言が解除された6月以降は、段階的に営業活動を再開し、対面と非対面の効果的な組み合わせを通じて、お客さまのご要望に柔軟にお応えできるよう努めてまいりました。具体的には、WEBを活用したオンライン面談の導入や、募集資料等の電子的送付システムの導入などを行いました。

商品面では、販売中の医療保険において、新型コロナウイルス感染症等に対する入院見舞給付金の支払額が従来の2倍となる「感染症サポートプラス」の取扱いを開始しました。

お客さまサービスにつきましても、電話や郵送による非対面のアフターサービス活動を強化し、新型コロナウイルス感染症に関する各種お取扱いの案内など、きめ細やかな情報提供を行っております。

「ご契約者本位」という想いのもと相互会社として創業された弊社では、経営や業務遂行にあたり、役職

員一人ひとりが「もし自分がお客さまだったら」を常に想像しながら、フコク生命ならではのサービスや経験を創り出し、ご提供していく「お客さま基点」という価値観をあらゆる発想や行動の原点とするよう努めております。「お客さま基点」の価値観のもと、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により不安を抱えるお客さまに寄り添ってまいります。

2020年度決算について

保険業績においては、新契約はコロナ禍により営業活動を制限したことで、第1四半期は大きく落ち込みましたが、新商品「はたらくささえプラス」〔就業不能保障特約(2020)〕の発売や「感染症サポートプラス」の取扱開始が寄与し、第2四半期以降は前年を上回る水準に回復しました。解約・失効は、コロナ禍における保険ニーズの高まりに加え、アフターサービスを徹底したことにより、大幅な改善となりました。

資産運用においては、世界的に長期金利が低位で推移するなか、安定した収益性を維持するため、自己資本の充実度に応じたリスク・テイクを推進する方針のもと、安定した配当が見込める内外の株式や相対的に利回りの高い外貨建社債を積み増しました。さらに、年度末にかけて内外の株価の上昇や、為替が円安に振れたこともあり、利息及び配当金等収入は3年連続で過去最高を更新しました。

その結果、保険会社の収益力を表す基礎利益はフコクしんらい生命との合算で前年度比0.3%増加の828億円となりました。健全性を示す指標である連結ソルベンシー・マージン比率は前年度末比27.8ポイント低下となりましたが、1,303.9%と引き続き高い水準を維持しております。また、ご契約者の期待を踏まえ、個人保険分野・企業保険分野において契約者配当を増配いたしました。これにより個人保険分野の増配は9年連続となります。

生命保険は、ご契約者が保険団体を構成して互いに助け合う「相互扶助の精神」で成り立っており、皆さまからお預かりした保険料の一部は万一のことがあったお客さまなどに保険金等としてお支払いされております。2020年度においては、フコクしんらい生命との合算で5,549億円の保険金・年金・給付金をお支払いいたしました。今後も保険金等の確実なお支払いに努めてまいります。

中期経営計画

2019年度から開始している中期経営計画（2019年度～2021年度）では、「徹底した差別化でお客さまから最も評価される会社となる」をビジョンとし、ES（従業員満足度）の向上をCS（お客さま満足度）の向上に結び付けていく「持続的成長のための好循環」の構築の実現を目指してまいります。また、同時に、10年後のありたい姿である「お客さま満足度No.1の生保会社となる」という長期経営ビジョンの実現に向けた取組みも遂行してまいります。

創業100周年に向けて

2023年11月に創業100周年を迎える弊社は、100周年に向けたフコク生命像である「THE MUTUAL」（ザ・ミューチュアル）というコンセプトのもと、100周年プロジェクトに取り組んでおります。「THE MUTUAL」とは、共感・つながり・支えあいをベースとした次の100年に向け進化する次代の“相互扶助”のことです。

この「THE MUTUAL」体現の推進エンジンとして、「NEXT100」の名称のもと、12のテーマで分科会活動を展開しております。テーマの1つに、弊社の職員が全国各地のつながりや支えあいを探し出し、発信していく「FIND THE MUTUAL」という活動があります。2020年度は広島支社、千葉支社、前橋支社、函館支社で実施しました。また、11月には「すまいる・ぎゃらりー」（全国の特別支援学校生徒の美術作品を内幸町本社ビル地下2階に展示する企画）の作品をエコバッグ等のデザインとして活用し、子どもたちと社会がつながるお手伝いをさせていただく「THE MUTUAL Art for children」の活動を開始しました。

健全性について

社会・経済環境が大きく変化するなかで、持続的に成長していくためには、これまでどおり経営の健全性を確保していくことが不可欠です。

弊社では、いかなる環境下においても健全性を維持できるよう、自己資本の一層の強化に努めております。



自己資本の強化にあたっては、経常益を原資とした内部留保に加えて、適宜、基金の募集や劣後社債の発行などの外部調達を組み合わせることを基本方針としております。

2020年度においては、12月に劣後特約付社債を500億円発行するとともに、内部留保として危険準備金および価格変動準備金の積増しを行いました。今後も健全性のさらなる向上を図り、お客さまにご安心を提供できるよう努めてまいります。

相互会社としての使命

弊社は、保険会社として「いかなるがあっても保険金等を確実にお支払いすること」が最も重要な責務であると考えとともに、相互会社として「配当還元のさらなる充実を通じて、お客さまの実質的な保険料負担の軽減を図ること」が使命であると考えております。

この保険会社としての責務と相互会社としての使命を果たしていくために、弊社はお客さまの利益を守ることを考え、過度な成長ではなく、お客さまを守るための成長を追求してまいりました。こうした企業としての在り方が、信頼へとつながり、お客さまに安心していただくことができるものと考えております。生命保険とはお客さまの一生にわたる、さらには世代を超える約束であり、終わりのない仕事です。相互扶助の精神のもと、お客さまにしっかりと寄り添い、未来永劫お客さまとの約束を守ってまいります。

これからも変わらぬご支援・ご愛顧を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

代表取締役社長

米山好映